

宝仙理数インターには、きょうだい校として、1928年の創立以来1世紀近い歴史を誇る女子部が併設されているが、(<https://www.hosen.ed.jp/ghs/>) 富士先生はこの女子部の校長も兼務されている。

今年、この宝仙学園高等学校女子部のダンス部が、8月に英国で開催されたダンスの世界大会で、3部門の優勝を果たし世界一となった(3冠)。このご紹介をし、お祝いをさせていただいた。この世界一のエンジェルたちもまた、富士先生の可愛い教え子である。



宝仙学園高等学校女子部 ダンス部『ReguLu's』(レグルス)



本日、日本テレビ『DayDay』内でLOVEダンの決勝進出校6校が発表されました！
115校エントリーの中、6校に残り決勝進出が決定しました！！
これから6校がAブロック、Bブロックに分かれて一般投票によりA・Bブロックそれぞれ1校が最終決勝に進むことができます！

宝仙学園高等学校女子部ダンス部

LOVEダン決勝進出！
115校中6校！



富士校長先生のご講話が始まった。参加者のご父母はみな熱心に聞き入り、大きく頷いてくださる方や、せわしなくペンを走らせメモを取る方が目立った。



富士先生のご講話は、小学校から高校までを通じての親の子どもに対する接し方の心構えがテーマであった。スマホについて、お小遣いについて…多感な年頃の中高生たちの成長過程を通じて親はどうあるべきか。「家庭内憲法」を創るというご提案もあった。

宝仙学園の教育の精神は、「知的で開放的な広場」「自己ベストの更新」、さらに「理数」と「インター」の本当の意味といった、先生独自のお考えによる魅力的なキーワードが並ぶ。これらは、具体的に宝仙学園への入学を考えているわけではないご家庭にこそ、ぜひ取り入れて参考にさせていただきたい精神であり、考え方である。



この日、富士先生からご著書「できちゃいました!フツの学校~富士晴英とゆかいな仲間たち」が、出席者全員に贈呈されるというサプライズ・プレゼントがあった。この本は、岩波ジュニア新書から出版されている。富士先生の教育への情熱、思想が伝わって来る著作である。講演後には内容に感銘を受け、著者のサインをおねだりする参加者もいた。



ひとつの学校の紹介にとどまらない名著である。皆様にはぜひご一読いただきたい。この本の表紙絵も宝仙学園の先生の作画である。校長先生だけでなく、他の先生や卒業生の言葉、世界にデビューする前の高校女子部ダンス部の決意なども語られている。

<参考>

*ティープロから宝仙理数インターに入学した生徒の主な進路(歴代個人別・報告などがあつた範囲で)

早稲田大学創造理工学部。熊本大学医学部(医師)。東京芸術大学建築科。東京家政大学児童学部(公務員保育

士)。関西大学法学部。東京理科大学工学部応用化学科。杏林大学医学部(医師)。東海大学医学部(医師)。慶應大法学部~京都大法科大学院(司法試験合格)。東海大学看護学部(医療技術者)。国際医療福祉大学看護学部。学習院大学法学部。早稲田大学創造理工学部。